



一般社団法人 地図協会
理事長 五本木秀昭

理事長挨拶

新年度を迎えるにあたり、ひとこと挨拶申し上げます。

当協会は昭和33年の設立以来65年にわたり、政府刊行地図等の販売普及事業および、これに関する事業の円滑化を進め、地図情報の発展に寄与してまいりました。これもひとえに、会員の皆様及び地図等を利活用いただいている大勢の皆様のご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

さて、本年4月から新学習指導要領が施行され、全国の高等学校では、およそ50年ぶりに地理教育が必修化されました。新学習指導要領に則り、地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養うためには、小中学校からさまざまな地図に触れ親しみ、その役割や有用性について理解することが重要です。

こうしたことから、今後、小中高等学校の教育現場において、地形図の需要が高まるものと予測されます。私ども地図協会は、一般財団法人日本地図センター（東京都目黒区・理事長：稲葉和雄）と共同運営による「地形図のある学校図書館の創設」実行員会を設置して、新規プロジェクトを開始しました（別添1ご参照）。

本プロジェクトは、全国の小中高等学校約70校の学校図書館に対し、管内の「地形図・空中写真・旧版地図」を地形図等セットとして提供し、学校図書館への配備等利便性に関する意見や感想の収集、児童・生徒の利活用状況に関するモニタリング調査を実施するものです。

また、6月7日から3日間にわたり、新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「測量の日」を記念したイベント、「くらしと測量・地図展－関東大震災から100年」が開催されました。当協会は、主催団体として、「地形図から学ぶ私たちの地域防災」というテーマで、地形図・解説パネル・古写真・空中写真等を展示、関東大震災を地形図から振り返り、その教訓をお伝え申し上げました。

また、「地形図のある学校図書館の創設」の紹介コーナーを開設し、当協会の活動を一般のお客様に広く周知いたしました。さらに、会員の皆様のお店や商品の紹介コーナーを開設するとともに、会員の皆様が制作した日本・世界地図カレンダーの無料配布も行いました。3日間で推計約7,500人の一般のお客様にお越しいただき、当協会及び会員の皆様について、広くアピールすることができましたので併せて報告申し上げます（別添2ご参照）。

当協会執行部一同、なお一層業務に励み、地図等の販売普及等にますます貢献する所存でございます。今後とも倍旧のご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。なお、皆様からのご意見・ご要望・ご提案等ございましたら、是非お聞かせくださいますようお願い申し上げます。当協会の改善や発展のために有効活用させていただきます。

以上

地形図のある学校図書館の創設 プロジェクト モニタリング学校図書館の募集

私たちの“まち”をもっと知りたい。
皆さんの思いを、地形図はかなえてくれます。

全国学校図書館に政府刊行基本図（地形図）を
備え置くことを目標に、

2023年4月からパイロット事業を開始しました。

モニタリング調査にご協力いただける、
紙地図の利活用にご興味のある学校を募集いたします。

応募いただいた学校の中から全国約70校を選定
図書館に約10万円相当の地形図等セットを
無償で提供させていただきます。（※）

※地形図等セットの利便性に関する意見や感想、児童・生徒の利活用状況に関するアンケート調査や、専門家によるヒヤリング調査にご協力いただけることなどが条件となります。

応募先：「地形図のある学校図書館の創設」

実行委員会事務局

（一社）地図協会（事務局：内外地図（株）（地図協会会員））

hanbai@naigai-map.co.jp

（一財）日本地図センター

chizukan@jmc.or.jp

上記のいずれかへ電子メールにてお問い合わせ、お申し込み下さい。

電子メールに、“モニタリング学校図書館希望”と記載し、
送信してください。

事務局より、募集要項や応募用紙を添えて、ご連絡申し上げます。



「地形図のある学校図書館の創設」実行委員会 事務局からお知らせ

2022年4月から新学習指導要領が施行され、全国の高等学校では、およそ50年ぶりに地理教科の必修修化が始まりました。

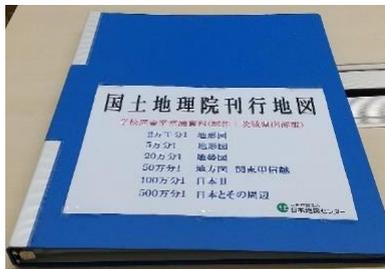
新学習指導要領に則り、地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養うためには、小中学校から、さまざまな地図に触れ親しみ、その役割や有用性について理解することが重要です。文部科学省では、日常生活と結び付いた地理的技能を身に付ける手段として、国土地理院刊行の地形図（紙地図）の読図等を奨励しています。地形図は日本の領土・領海などのほか、私たちの住むまちの、地理・歴史・文化・産業・防災等を学ぶ際にも、極めて重要なツールとなります。さらに、古い地形図と新しい地形図を見比べると、地域の変革を知ることができ、アーカイブとしての価値もあります。

こうしたことから、今般、一般社団法人地図協会と一般財団法人日本地図センター（※）は実行委員会を立ち上げ、関係機関と連携し、全国の学校図書館にその地域の地形図等を常備するためのプロジェクトを進めております。

私たちは、2023年4月から、そのためのパイロット事業として、モデル学校図書館に対し、地形図等セット（地域の最新地形図、地域の旧版地形図、撮影年代ごとの地域の空中写真や衛星画像、これらの利活用方法を記した解説冊子等で構成されるプロトタイプ教材）を送付・配備し、利便性に関する意見や感想の収集、児童・生徒の利活用状況に関する効果検証のための調査を行います。

※一般財団法人日本地図センターは、地図利用の普及と地図に関する技術の発展に寄与することを目的として設立されました。一般社団法人地図協会は、政府刊行地図などの販売普及事業及びこれに関連する事業の円滑化を行い、地図情報の発展に寄与することを目的として設立されました。

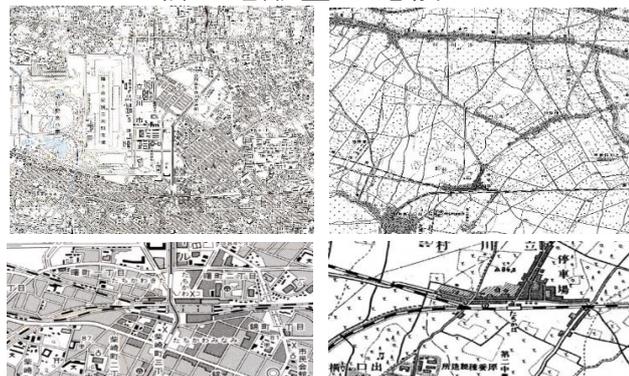
地形図等セット 全体イメージ



最新地形図と空中写真の比較



新旧地形図の比較



(別添2)



地図協会ブースを訪れたお客様



地図協会ブースを訪れたお客様



地図協会の展示



地図協会の展示